ハンドマイク街頭演説原稿例　ガザ侵攻ただちに中止を

二〇二三年十月十七日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、中東パレスチナのイスラム組織ハマスとイスラエルとの戦闘が激化し、危機的な状況になっています。マスコミなどで連日報道されており、ご存知の方も多いと思います。イスラエルは、ガザ地区への軍事侵攻をただちに中止すべきです。

　ハマスによるイスラエルへのロケット弾攻撃や民間人の連行は、国際人道法に違反するものであり、どのような理由があろうとも許されるものではありません。日本共産党は、ハマスの行為を強く非難するものです。

　一方、イスラエルはこれに対して、パレスチナのガザ地区を大規模に攻撃し破壊しつくす構えを見せています。ガザ地区はもともとイスラエルによって軍事占領された地域です。しかも壁で囲われた狭いところに人口が密集しています。ここが軍事攻撃を受ければ、子どもや女性をはじめ罪のない住民におびただしい犠牲を生むことが避けられません。占領下にあって保護されるべき人々に対する集団的懲罰というべきものであって、イスラエルの自衛の範囲を明らかに超えており、決して正当化できません。

　ところでみなさん、なぜこのような事態におちいっているのでしょうか。根底には、イスラエルがパレスチナの占領地の住民を強制的に排除しながら国際法違反の入植を広げ続け、ガザ地区については封鎖するとともに空爆や軍事侵攻を繰り返してきたという問題があります。日本共産党は中東和平をめざす上で、三つの原則を主張しています。一つ目はイスラエルが占領地から撤退すること、二つ目はパレスチナの独立国家樹立を含む民族自決権を実現すること、三つ目はイスラエルとパレスチナ国家の生存権をお互いに認め合うことです。これらの原則は、国際的な一致点ともなってきています。日本共産党は中東和平への道を切り拓くため、日本共産党ならではの役割を発揮していく決意です。

　暴力の連鎖と紛争の拡大を止めるためには、パレスチナ国家の実現と、イスラエルとの平和共存につながる話し合いがどうしても必要です。ハマス、イスラエル双方とも、暴力の悪循環を最大限に自制し、即時停戦のための協議のテーブルに着くことを強く求めます。日本共産党は、国際機関と関係各国があらゆる外交努力を行うよう、強く呼びかけるものです。

　日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」の国際面は、他の新聞とは一味違った報道で高い評価をいただいております。この機会に「しんぶん赤旗」をお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）